

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		28年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	堀川口防潮水門の地震・津波対策		継続	維持	維持	連絡先	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	堀川口防潮水門				事業期間	平成25～33年度
	意図(どうい う状態に したいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。					
概要	堀川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。					根拠法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、住民及び企業の生命・財産を守ります。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
29年度の実施予定	堀川口防潮水門の4号通航水門について耐震補強工事を完了します。 また、3号通航水門について耐震補強工事を実施します。(平成29年度から平成30年度の債務負担行為による工事)					関連シート	

2 DO(実施)

29年度に実施した 内容・結果	堀川口防潮水門の4号通航水門について耐震補強工事を完了しました。 また、3号通航水門について耐震補強工事を進めました。					
コスト	単位	27年度	28年度	29年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	42,756	138,440	246,848	505,989	
人件費	千円	3,746	6,898	7,352	21,018	
合計	千円	46,502	145,338	254,200	527,007	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状況 (全4工程) (進行管理型)	目標	3	3	3	3(累計)		既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完了	
	実績	3	3	3				
	事業進捗状況(29年度)				順調 やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。						
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献と考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	— 本事業は、施工中であるため、成果の評価は対象としておりません。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 必要最低限のコストにて取り組んでおります。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	維持	維持	港の安全性向上に必要な事業であり、着実に事業を進めていく必要があるため。
課題				
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。また、堀川口防潮水門は、高潮対策に主眼をおいた構造であることから、津波への対策を更に強化する必要があります。				堀川口防潮水門は、平成33年度の完了を目途に躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の整備に向けて検討を進めていきます。